# 2026年3月期 第3四半期決算説明資料

## FY2026 Q3 Financial Results Presentation

AKIBA HOLDINGS

2026.2.13

©AKIBA HOLDINGS

CONTENTS

**【2026年3月期 第3四半期決算説明資料】**


01. トピックス・概況

02. 2026年3月期 第3四半期決算概要

03. 2026年3月期 通期連結業績予想

04. 事業セグメント別概況


**【参考資料】**


会社概要・沿革

2026年3月期の業績予想と各事業の方針・施策

財務情報、株式情報


※資料中の数字の単位は、別途指定ない限りすべて百万円



©AKIBA HOLDINGS

# 01

# トピックス・概況
# TOPICS・Overview


©AKIBA HOLDINGS

# 1．トピックス： 2026年３月期 第3四半期決算

## メモリ事業とHPC事業が牽引し、3Q累計で大幅な増収増益を達成
## 好調な業績進捗を踏まえ、2026年3月期通期業績予想を上方修正

**3Q累計で大幅増収増益。営業利益は前年同期比159.9%の進捗**

当第3四半期累計は、売上高16,914百万円（前年同期比138.2%）、営業利益563百万円（同159.9%）と大幅な増収増益を達成しました。

**メモリ事業黒字化とHPC事業の拡大、AI需要を取り込み牽引**

メモリ事業が需要増と価格高騰の中で黒字転換を果たしたほか、HPC事業も需要拡大による受注案件増加で拡大。両事業の躍進が連結の収益拡大を牽引いたしました。

**3Qまでの業績進捗を踏まえ、期初時点の業績予想を上方修正**

第3四半期までのメモリ事業及びHPC事業の好調な進捗を踏まえ、2026年3月期の通期連結業績予想を上方修正いたしました。
売上高 25,500百万円(前回予想比134.9%)、営業利益900百万円(前回予想比136.4%)
経常利益800百万円(前回予想比133.3%)、当期純利益530百万円(前回予想比132.5%)


©AKIBA HOLDINGS

# 1．概況： 2026年３月期 第3四半期決算

## メモリ・HPC事業の大幅拡大により、3Q累計売上高は前年同期比138.2%、3Q累計の営業利益は同159.9%と大幅増収増益となる進捗

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続きましたが、物価上昇や不安定な為替相場など、先行きは依然として不透明な状況が継続しました。

こうした経営環境下、当社グループは、メモリ・PC関連デバイス事業においてメモリ価格上昇やWindows11移行に伴う需要を的確に捉えたことに加え、HPC事業における大型案件の受注増により、主力事業が好調に推移しました。

この結果、第3四半期累計（3Q累計）の売上高は16,914百万円（前年同期比138.2%）、営業利益は563百万円（同159.9%）と、大幅な増収増益を達成し、順調な進捗となりました。

３Qまでの好調な業績進捗を踏まえ、期初に公表した通期連結業績予想を修正することといたしました。修正後の業績予想達成に向け、第4四半期も各事業における諸施策を確実に推進してまいります。

| | 2025/3 3Q累計実績 | 2026/3 3Q累計実績 | 前年同四半期比 | 2026/3 業績予想（2/13修正） | 前期比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 12,243 | **16,914** | 138.2% | **25,500** | **139.6%** |
| 営業利益 | 352 | **563** | 159.9% | **900** | **125.7%** |
| 経常利益 | 310 | **556** | 179.2% | **800** | **120.8%** |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 45 | **332** | 732.9% | **530** | **472.1%** |
| 一株当たり四半期純利益 | 4.93円 | **36.15円** | | **57.70円** | |

※本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく過程に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見直し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません

02

# 2026年3月期 第3四半期通期決算概要
# FY2026 Q3 Financial Results Summary


©AKIBA HOLDINGS

# 2．2026年３月期第3四半期決算概要：事業セグメント

AKIBA HOLDINGS

| | | |
|---|---|---|
| メモリ・PC関連デバイス・ IoT | ADTEC | **株式会社アドテック**<br>メモリ及びコンピュータ関連製品・IoTソリューション事業　等 |
| 通信建設テック | Buddy Net<br>Branch Techno | **株式会社バディネット**<br>**株式会社ブランチテクノ**<br>通信建設工事業、通信土木事業、コンタクトセンター事業 等<br>※ブランチテクノは2024年4月1日に連結子会社化（2024年6月30日がみなし取得日）<br>※バディネットがリーバンを2025年3月31日付で吸収合併 |
| ＨＰＣ<br>（高性能科学技術計算機） | HPC TECH | **株式会社ＨＰＣテック**<br>高性能計算機の開発・製造及び販売事業 |
| その他（旅館他） | Diamond pets & resort | **株式会社ダイヤモンドペッツ＆リゾート**<br>旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業、不動産事業　等 |


©AKIBA HOLDINGS

# 2．2026年３月期第3四半期決算：事業セグメント別の概況

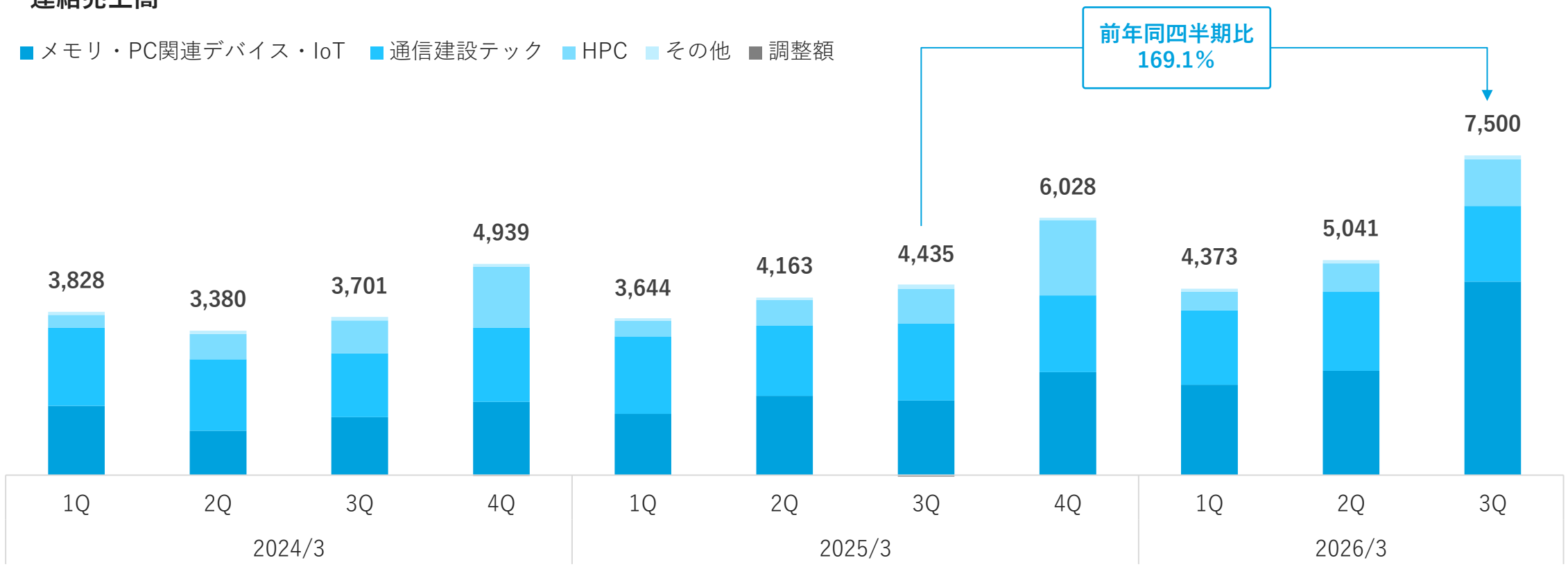
| | 売上高 | 前年同四半期比 | 営業利益 | 前年同四半期比 | トピックス |
|---|---|---|---|---|---|
| 連結 | 16,914 | 138.2% | 563 | 159.9% | |
| メモリ・PC関連<br>デバイス・ IoT | 9,102 | 180.3% | 63 | 前期は△83の損失計上 | メモリ価格高騰とAI・PC更新需要を捉え売上高が大幅伸長、増益で黒字化。 |
| 通信建設テック | 5,385 | 102.8% | 186 | 73.9% | 売上は多角化進展で堅調。利益は先行投資で減少したが、体制強化が進捗。ブランチテクノの黒字化が貢献。 |
| ＨＰＣ<br>（高性能科学技術計算機） | 2,201 | 124.3% | 268 | 228.7% | 最新製品の投入と積極的な販促による大型案件の獲得が利益確保につながり、3Q累計で大幅な増収増益 |
| その他<br>（旅館ほか） | 225 | 122.6% | 44 | 68.1% | 平日稼働は苦戦も、機動的な価格設定により累計売上は堅調。設備の更新・修繕により減益（全社費用等の調整額を含む） |


©AKIBA HOLDINGS

# 2．2026年３月期第3四半期決算：連結売上高

## メモリ事業の大幅な伸長に加え、HPC事業も堅調に推移し連結売上高を牽引
## 第3四半期会計期間の売上高は7,500百万円で前年同期比169.1%と大幅伸長

連結売上高



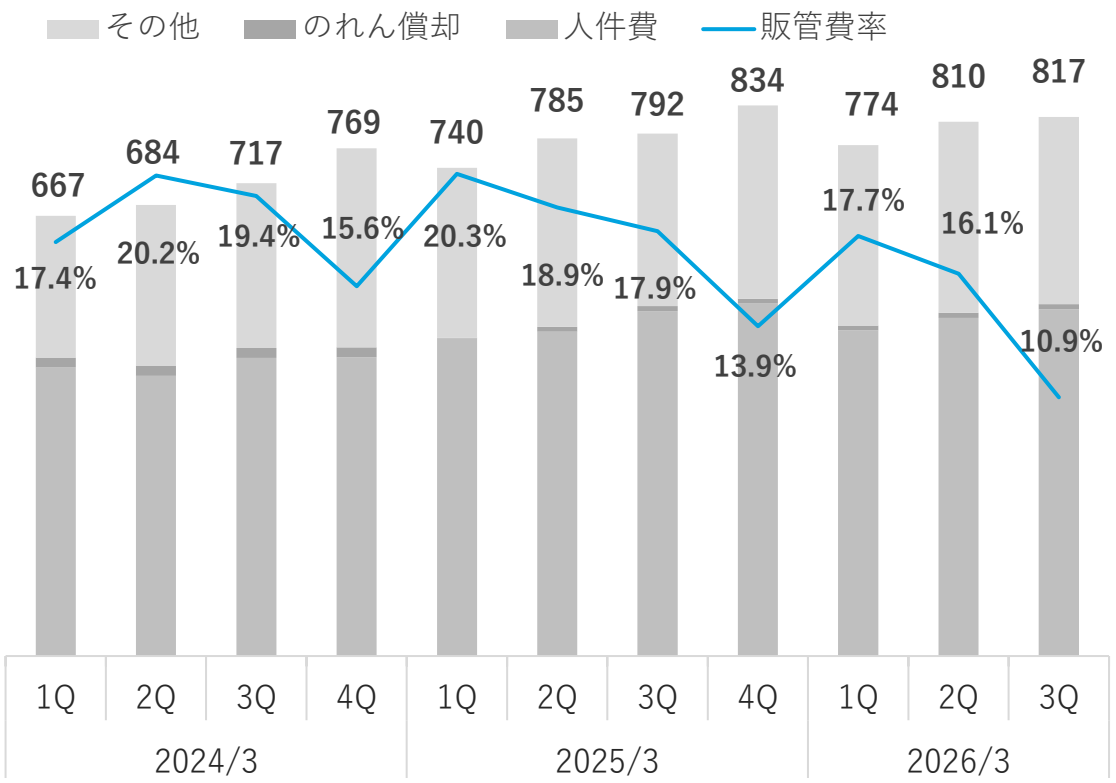



©AKIBA HOLDINGS

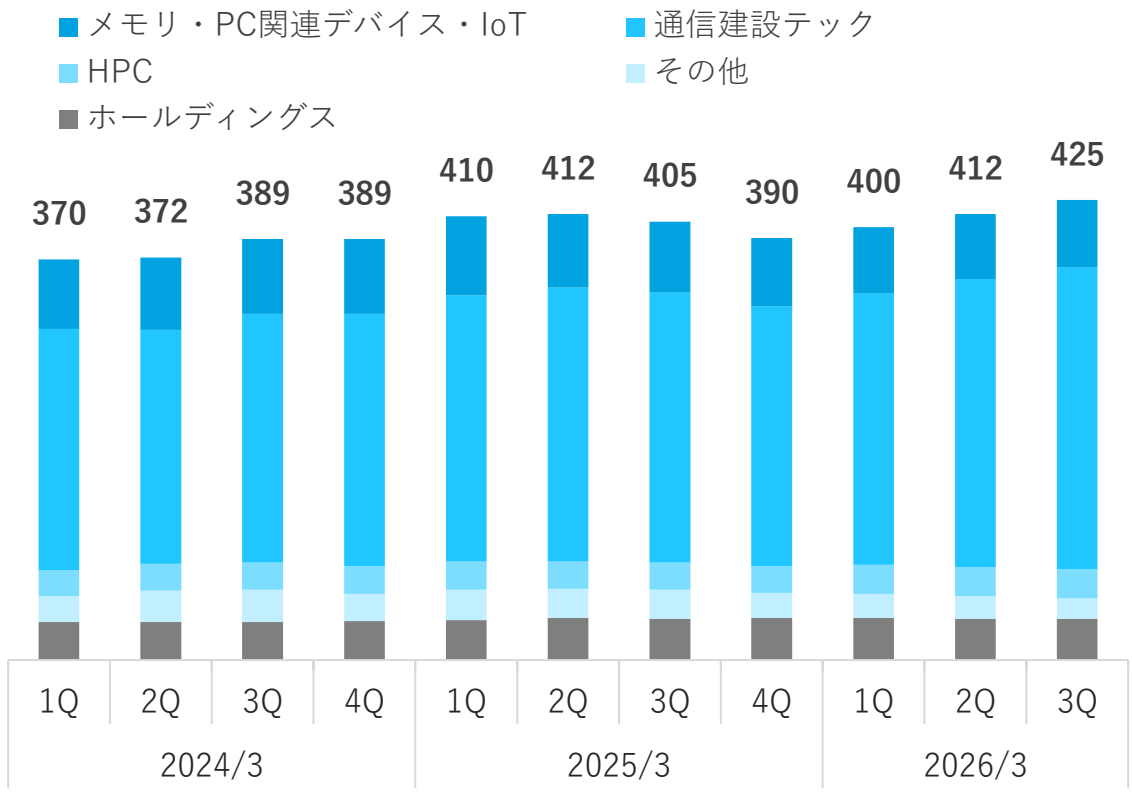
# 2．2026年３月期第3四半期決算：販売費及び一般管理費・役職員数

## 成長投資継続し販管費は前年同期比で増加したものの、大幅増収により販管費率は低下
## 第3四半期会計期間の販管費率は10.9%（前年同期比 7.0ポイント改善）

販売費及び一般管理費（百万円）




役職員数（人）





©AKIBA HOLDINGS

# 2．2026年３月期第3四半期決算：連結貸借対照表

## 今後の売上確保に向けた早めの棚卸資産の確保・増加に伴う総資産の拡大

- 棚卸資産・買掛金は、メモリ事業・HPC事業の受注増に対応する仕入増や、部材納期遅延リスクに備えた在庫確保により増加しました。
- 長期借入金の返済が進み、有利子負債合計は前期末と比較して921百万円減少しました。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益332百万円を計上したことに伴い、純資産が増加。1株当たり純資産は421.14円と前期末の384.53円から109.5%の水準となりました。

連結貸借対照表

| | 2025/3末 | 2025/12末 | 差異 | 前期末比 |
|---|---|---|---|---|
| 流動資産 | 12,657 | 14,106 | 1,449 | 111.5% |
| 現預金 | 5,369 | 4,354 | -1,014 | 81.1% |
| 売掛債権 | 5,243 | 6,204 | 960 | 118.3% |
| 棚卸資産 | 1,428 | 2,647 | 1,218 | 185.2% |
| 固定資産 | 970 | 934 | -35 | 96.3% |
| 資産合計 | 13,627 | 15,041 | 1,413 | 110.4% |
| 流動負債 | 6,817 | 8,394 | 1,576 | 123.1% |
| 短期借入金 | 3,650 | 3,372 | -278 | 92.4% |
| 一年以内返済予定長期借入金 | 993 | 921 | -72 | 92.7% |
| 一年以内償還予定社債 | 60 | 60 | - | 100.0% |
| 買掛金 | 1,403 | 3,440 | 2,037 | 245.2% |
| 固定負債 | 2,832 | 2,275 | -557 | 80.3% |
| 長期借入金 | 2,397 | 1,856 | -540 | 77.4% |
| 社債 | 240 | 210 | -30 | 87.5% |
| 負債合計 | 9,649 | 10,669 | 1,019 | 110.6% |
| 株主資本 | 3,531 | 3,863 | 332 | 109.4% |
| 資本金 | 100 | 100 | - | 100.0% |
| 利益剰余金 | 2,650 | 2,982 | 332 | 112.5% |
| 純資産 | 3,978 | 4,372 | 394 | 109.9% |
| 負債・純資産合計 | 13,627 | 15,041 | 1,413 | 110.4% |


©AKIBA HOLDINGS

# 2．2026年３月期第3四半期決算：連結損益計算書

## メモリ・HPC事業の牽引で大幅増収、各利益も過去最高水準へ

- メモリ事業における需要拡大・価格上昇影響、HPC事業の好調な大型案件の受注増が牽引し、売上高は前年同期比138.2%となりました。
- 増収効果により、売上総利益も前年同期比111.1%と伸長しました。相対的に原価率の高い事業の売上構成比が高まったことにより売上総利益率は低下したものの絶対額は増加いたしました。
- 事業基盤の強化に向けた投資の継続により販管費は増加（前年同期比103.7%）したものの、増収効果により吸収し、営業利益は前年同期比159.9%となる563百万円を確保しました。
- 営業利益の大幅な増加に伴い、経常利益は前年同期比179.2%、前期の特別損失が今期計上が無かったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比732.9%の大幅増益となりました。

連結損益計算書

| | 2025/3 3Q | 2026/3 3Q | 差異 | 前年同四半期比 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 12,243 | 16,914 | 4,671 | 138.2% |
| 売上原価 | 9,572 | 13,948 | 4,375 | 145.7% |
| 売上総利益 | 2,670 | 2,966 | 296 | 111.1% |
| 販売費及び一般管理費 | 2,317 | 2403 | 85 | 103.7% |
| 営業利益 | 352 | 563 | 211 | 159.9% |
| 営業外収益 | 19 | 62 | 43 | 324.5% |
| 営業外費用 | 61 | 70 | 8 | 114.3% |
| 経常利益 | 310 | 556 | 245 | 179.2% |
| 特別利益 | - | - | - | - |
| 特別損失 | 150 | - | -150 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 160 | 556 | 395 | 346.5% |
| 法人税等合計 | 89 | 166 | 76 | 185.4% |
| 四半期純利益 | 70 | 390 | 319 | 549.9% |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 25 | 58 | 32 | 227.1% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 45 | 332 | 286 | 732.9% |


©AKIBA HOLDINGS

03

# 2026年3月期 通期連結業績予想
# FY2026 Consolidated Earnings Forecast


©AKIBA HOLDINGS

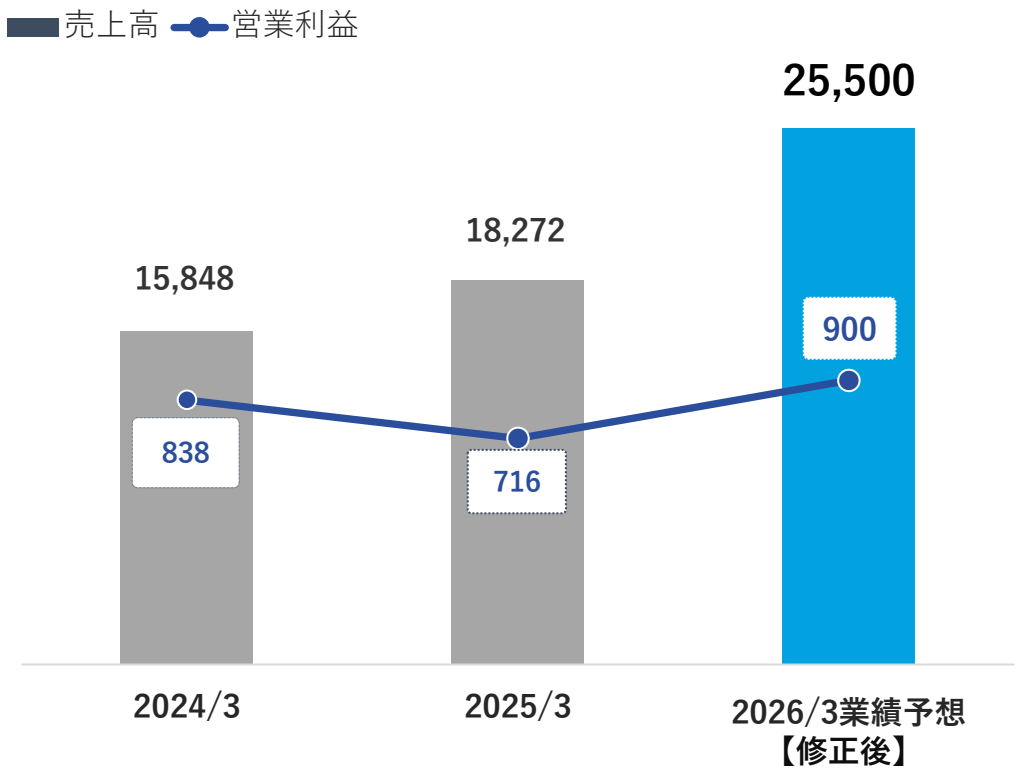
# 3．2026年3月期 通期連結業績予想※2/13に期初予想を修正いたしました。

## メモリ事業の大幅伸長とHPC事業が好調に推移したことを踏まえ、2026年3月期通期の業績予想を上方修正いたしました

### 通期連結業績予想修正の概要

| | 2026/3 業績予想（修正前） | 2026/3 業績予想（修正後） | 予想 修正比 | 前期比（修正後） |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 18,900 | 25,500 | 134.9% | 139.6% |
| 営業利益 | 660 | 900 | 136.4% | 125.7% |
| 経常利益 | 600 | 800 | 133.3% | 120.8% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 400 | 530 | 132.5% | 472.1% |

■ メモリ事業・HPC事業の好調により、第３四半期累計で期初予想を上回る進捗となりました。最繁忙期の不確定要素を保守的に織り込んだ上でも、通期全体では当初予想を超過する見通しです。他事業も概ね計画通りであることから、売上高および各段階利益の通期予想を上方修正いたしました。





©AKIBA HOLDINGS

# 04-1

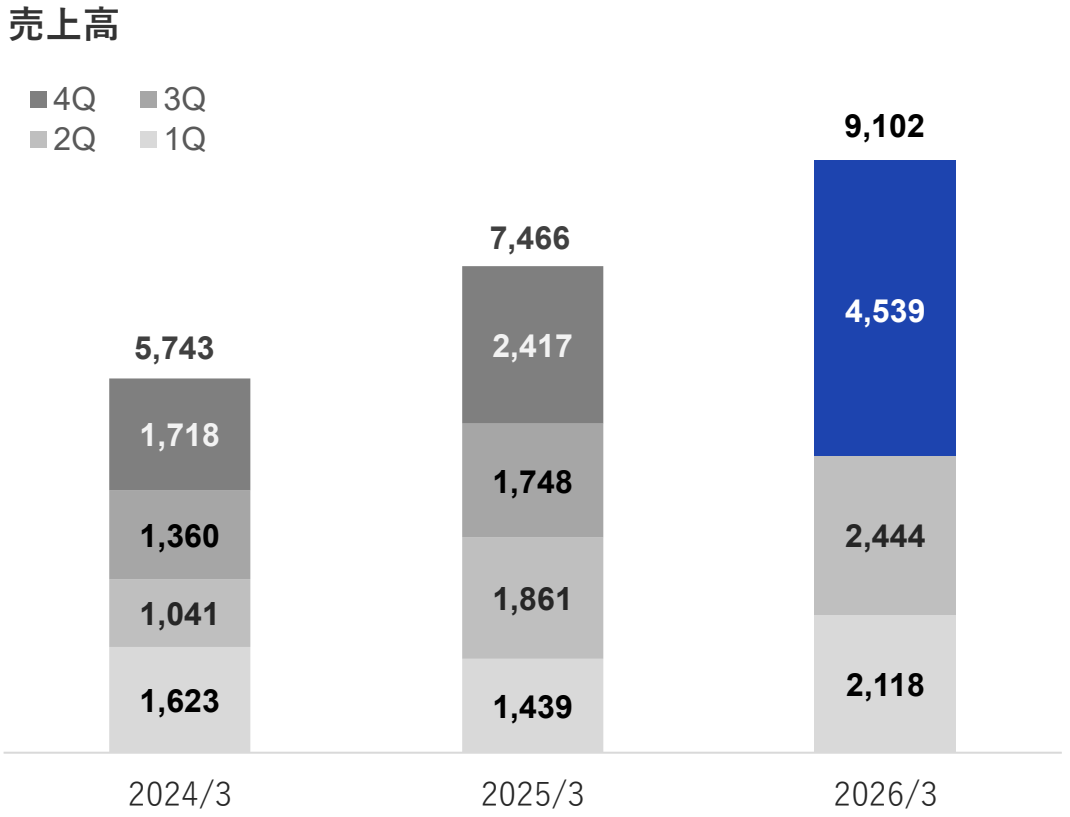
# 事業セグメント別概況 – メモリ・PC関連デバイス・ IoT事業 –
# Overview by Business Segment


©AKIBA HOLDINGS

# 4-1. セグメント別概況 -メモリ・PC関連デバイス・IoT-：売上高

## メモリ関連の市場環境の変化による価格上昇と大型案件の受注により、前年を大幅に上回り３Q累計の売上高前年比で180.3%

- メモリ・PC関連デバイス事業においては、データセンター需要の増加に起因する主要メモリ製品のメーカー生産終了（EOL）や製品供給不足を背景とした市場価格の高騰に伴い、販売単価が上昇しました。この価格上昇効果に加え、Windows 11移行に伴う底堅い法人PCの更新需要や、大口顧客からの大型の受注増加が重なったことで、売上高は前年同期比で飛躍的に伸長いたしました。
- IoT事業においては、顧客への受託開発案件の提案の継続により案件受注が増加し始めている中、一部案件における検収時期のズレ込みが発生しましたが、既存案件が堅調に推移したことから、第3四半期会計期間については、前年同四半期と同水準の売上高を確保しました。 また、新規商材のサービス化を進めており、来期以降の収益拡大に向けた取り組みを推進しております。



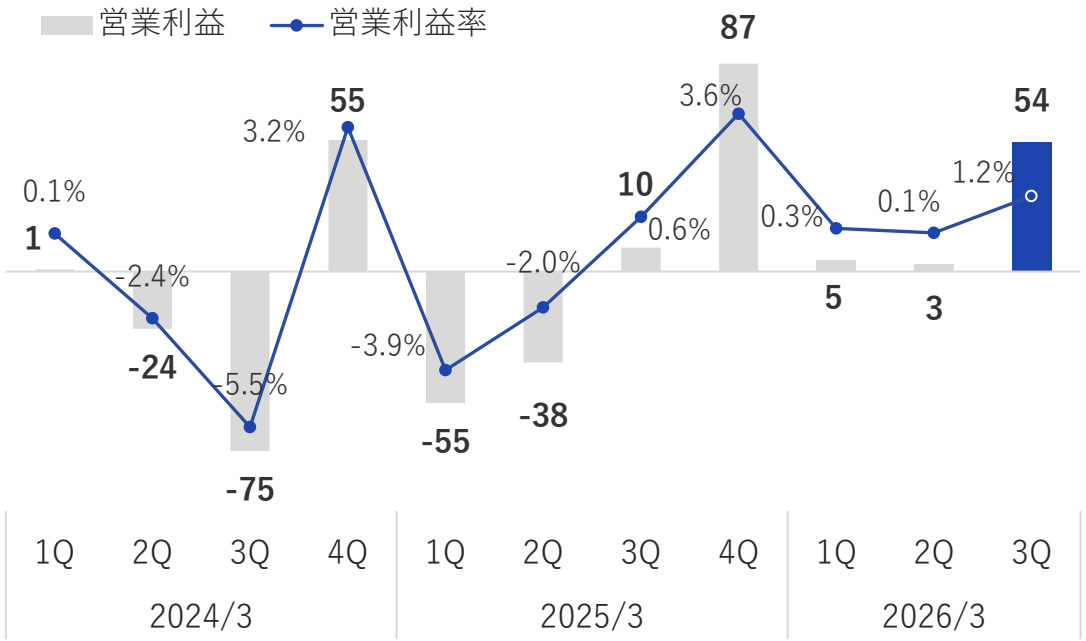


©AKIBA HOLDINGS

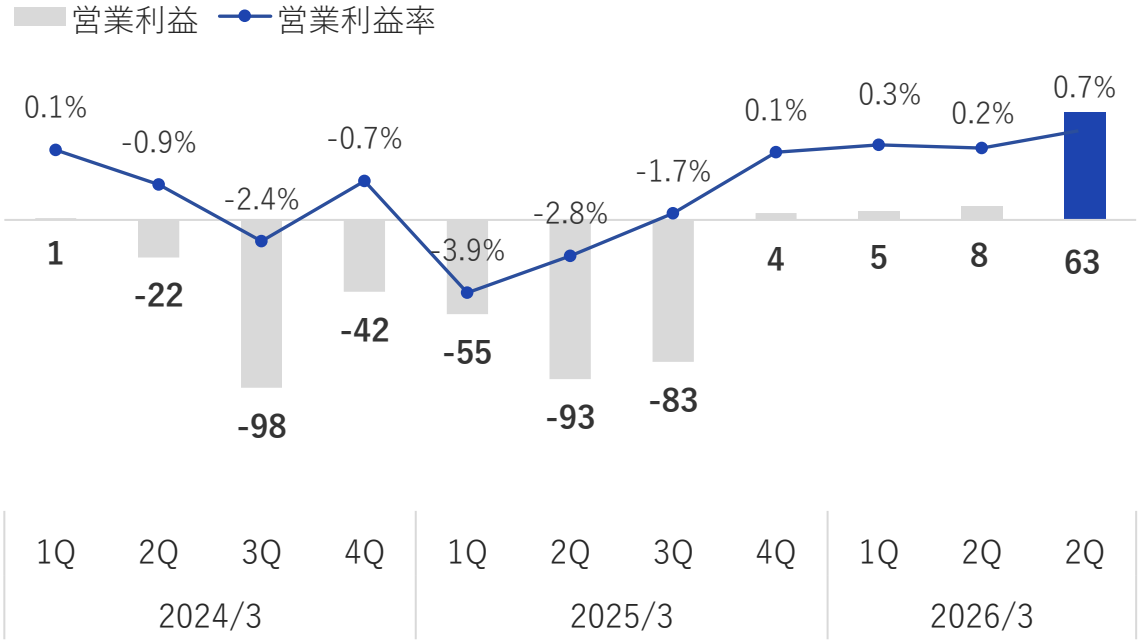
# 4-1. セグメント別概況 -メモリ・PC関連デバイス・IoT-：営業利益　会計期間・累計期間

## メモリ・PC関連デバイス事業の大幅増収により、大幅増益を達成
## 価格上昇による調達コスト増も吸収し、3Q会計期間において大きく利益積み上げ

### 営業利益　会計期間




### 営業利益　累計期間




- メモリ・PC関連デバイス事業は、製品調達コストの急騰や円安進行による仕入価格の上昇が、一時期の収益性に影響を及ぼしましたが、販売価格への転嫁等の対策に加え、大幅な増収効果が寄与し、結果として事業セグメント全体の黒字転換及び利益拡大を牽引いたしました。
- IoT事業においては、前年同四半期並みの収益水準を維持するとともに、将来の成長に向けた新製品開発や人員・組織体制強化等の取組みを継続しております。


©AKIBA HOLDINGS

# 4-1. セグメント別概況 -メモリ・PC関連デバイス・IoT-：ニュートピックス

IoT

プレスリリース 2025.10.16

## P/Eサイクル(消去可能回数)10万回対応eTLCタイプ「産業用SD」と「産業用microSD」を2025年10月16日(木)に発売

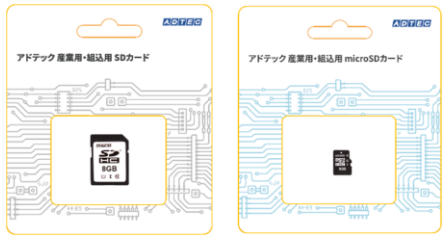
～当社従来製品の30倍以上のP/Eサイクルで、産業機器の長期安定運用をサポート ～

製品サイト

https://www.adtec.co.jp/product/industry/sd-microsd/

### 「eTLC(expansion TLC)タイプ「産業用SD」と「産業用microSD」」

3D TLC NANDのほぼ全ての領域をSLCモードに設定し、SLCと同様に使用できるSDカード向けファームウェアを新たに開発いたしました。TLCベースでありながらSLCと同等レベルのデータ保持信頼性を実現し、さらにP/Eサイクルを大幅に向上したeTLC(expansion TLC)タイプの「**産業用SD**」と「**産業用microSD**」です。



従来の当社TLC搭載製品が約3,000回程度のP/Eサイクルであったものに対し、eTLCタイプの製品ではP/Eサイクル（消去可能回数）が約100,000回へ向上し、30倍以上の耐久性を実現することで、一般的な擬似SLC仕様のMLC製品TLC製品のみならず、従来のSLC製品をも上回る高い耐久性を備えております。

監視カメラや業務用ドライブレコーダーといった24時間稼働の機器はもちろん、工場設備や製造装置における稼働データの保存・交通インフラでの動作記録・大容量データのバックアップ用途のほか、従来SLCレベルの信頼性が求められていた用途にも安心してご利用いただけます。


©AKIBA HOLDINGS

04-2

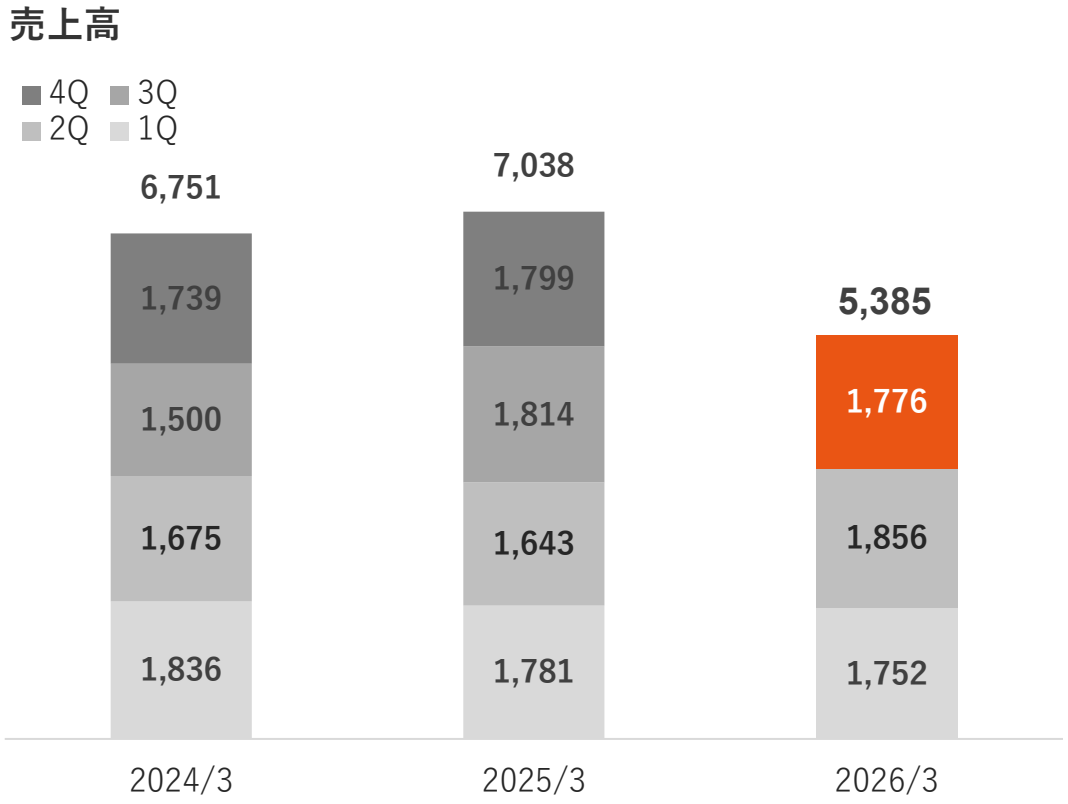
# 事業セグメント別概況 –通信建設テック–
# Overview by Business Segment


©AKIBA HOLDINGS

# 4-2. セグメント別概況 -通信建設テック-：売上高

## ロボット・カメラ関連やコンタクトセンター事業が収益の柱として、事業領域の多角化が進展し、売上高は３Q累計で前年同期比102.8%と堅調な進捗

- 主力である屋内電波対策工事は、一定の工事完了件数を確保するとともに、サービスロボット関連の導入やクラウド型カメラの設置工事が拡大基調で推移いたしました。
- コンタクトセンター事業も堅調に推移したことにより、売上高を牽引しました。再生可能エネルギー関連については、中期的な業績寄与に向けて受注高は積みあがっているものの、大型案件の検収時期が第４四半期以降になったため、当四半期におけるセグメント全体の売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。
- 自社サービスとして2025年11月にITデバイスの保守サービス「BuddyQr」、2026年1月にロボット導入・保守サービスの「ROBONARA(ロボナラ)」をリリースしており、全国での施工・保守体制を活用したストック型サービスの拡大を進めております。
- ブランチテクノにおける通信キャリア向けの基地局関連工事においても、既存案件が順調に進捗したことに加え、バディネットとの連携によるグループシナジーを活かした案件推進が進捗したことにより、前年同期※を上回る売上高を確保しました。



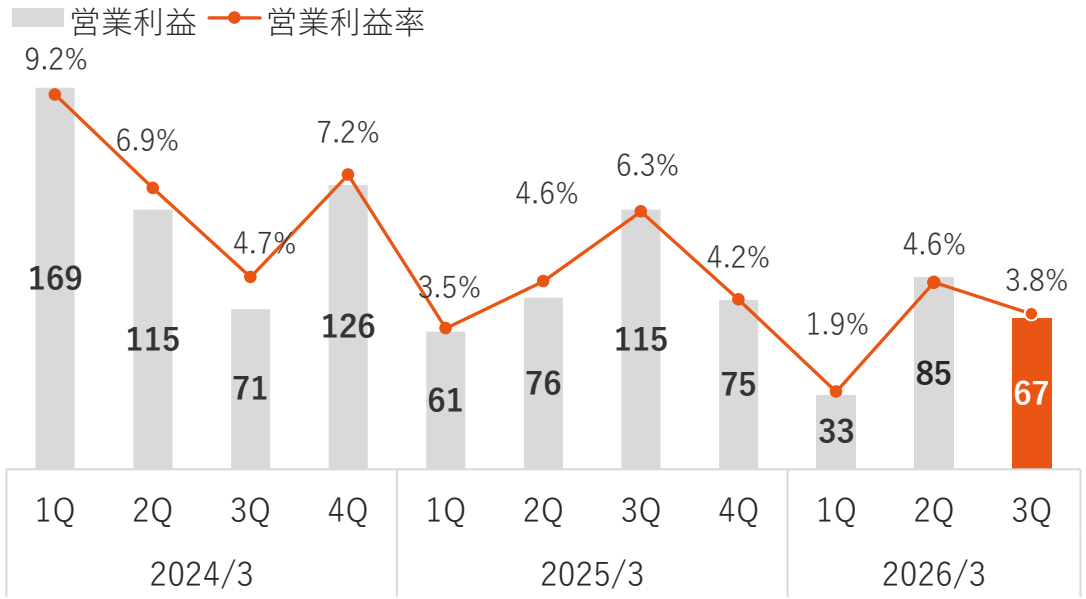

※ブランチテクノは2024年7月からの連結開始のため、前年同期比較は2024年7月(第2四半期)～2024年12月(第3四半期)の6ヵ月間の数値に基づいています。


©AKIBA HOLDINGS

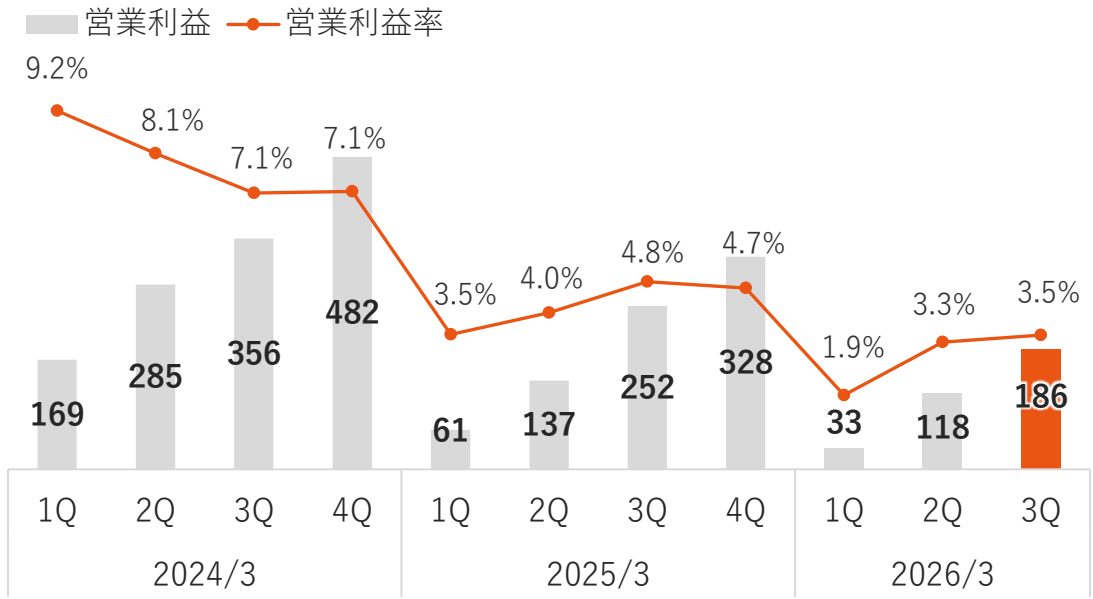
# 4-2. セグメント別概況 -通信建設テック- ：営業利益　会計期間・累計期間

## 事業拡大に向けた人的投資／拠点強化を加速、先行費用増加も将来の収益基盤を強化

### 営業利益　会計期間




### 営業利益　累計期間




- バディネットについては、屋内電波対策工事の安定した売上計上、サービスロボット関連事業、クラウド型カメラ設置事業、コンタクトセンター事業（アルコールチェック代行サービス等）の売上拡大が収益基盤の安定に貢献しました。各事業が堅調に推移したことで売上総利益は増加いたしましたが、将来の事業拡大を見据えた積極的な人的投資を行った影響により、前年同四半期の営業利益を下回る進捗となりました。
- ブランチテクノにおいては、バディネットの営業連携によるグループシナジーを活かした案件推進による稼働率の向上と、販管費の適切なコントロールが奏功し、一定の営業利益を確保いたしました。


©AKIBA HOLDINGS

プレスリリース 2025.11.5

# 一般社団法人ロボットデリバリー協会参画のお知らせ

株式会社バディネットが、利便性と安全性を備えたロボットデリバリーサービスの基盤構築及び早期の社会実装を目指す一般社団法人ロボットデリバリー協会の正会員として参画いたしました。今回の参画により、ロボット関連事業で培ったノウハウや経験を活かし、特に自動配送ロボット導入に不可欠なインフラ構築、及び導入後の保守・メンテナンスの部分において、ロボットデリバリー協会様の取り組みに積極的に関与することで、自動配送ロボット社会実装の実現に貢献してまいります。

ロボットデリバリー協会
ROBOT DELIVERY ASSOCIATION

Buddy Net

▶ロボットデリバリー協会について

ロボットデリバリー協会様は、自動配送ロボットが公道を走行するための業界における自主的な安全基準の制定や安全基準への適合審査の仕組みづくりに取り組むことにより、利便性と安全性を備えたロボットデリバリーサービスの基盤構築と早期の社会実装を目指しています。
公式サイト：https://robot-delivery.org/

プレスリリース詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/press-release/robot-delivery-251105/

プレスリリース 2025.11.13

# 最先端ITデバイス向け保守パッケージサービス「Buddy Qr（バディキュア）」提供開始

株式会社バディネットは、ITデバイスのメーカー及びサービスを展開する事業者様向けに、保守パッケージサービス「Buddy Qr（バディキュア）」の提供を2025年11月13日より開始いたしました。

Buddy Qrは、デバイスに貼付した専用の二次元バーコードをスキャンするだけで、アフターサポートに必要な機能を月額980円から利用できる高機能なサブスクリプション型サービスです。

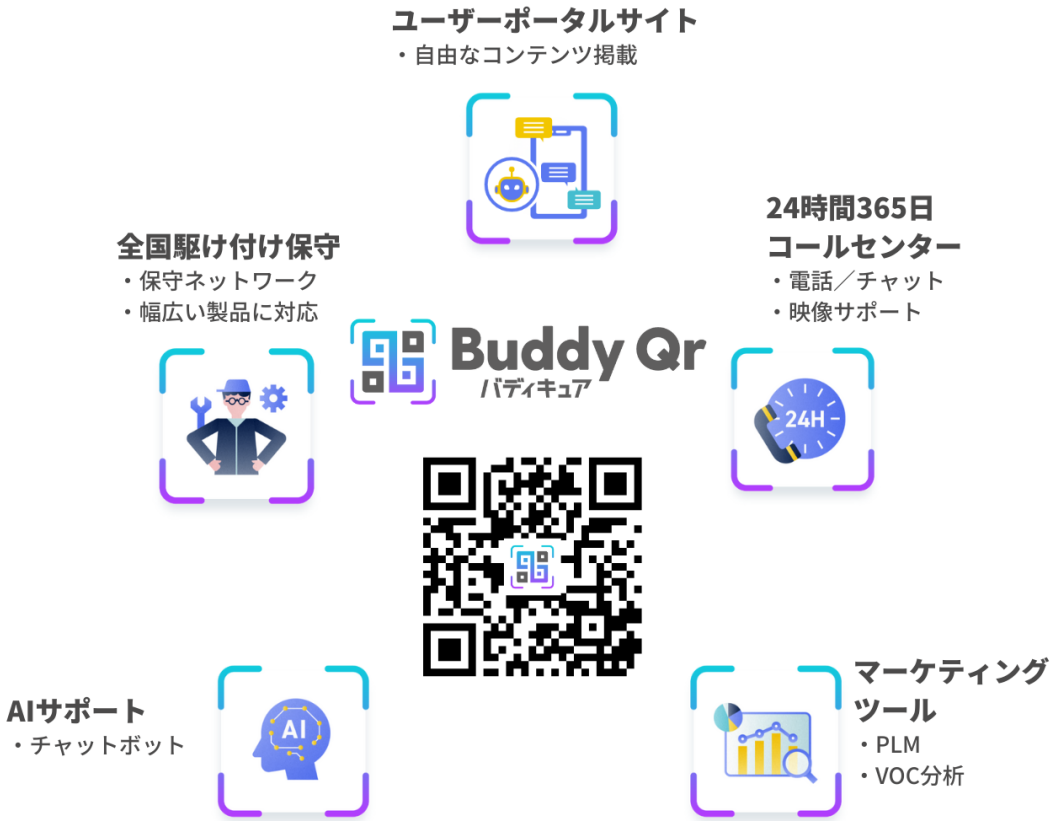
当社が培った全国カバーの人的プラットフォームにITを掛け合わせることで、少数のデバイスからでも低価格で高品質な保守体制の構築を可能にしました。本サービスを通じてアフターサポートのあり方を革新し、日本社会のIT化を力強く支えてまいります。

Buddy Qr（バディキュア）サービスページ
https://www.buddynet.jp/service/buddyqr/

プレスリリース詳細【バディネットHP】

https://www.buddynet.jp/press-release/buddyqr-release-251113/

# 4-2. セグメント別概況 -通信建設テック：ニューストピックス




二次元バーコードシールを機器に貼るだけで、
**保守からマーケティングまで。**
**事業を支える多彩な機能**をご利用いただけます。

■ 使い方はシンプル。“困ったら、スキャン”するだけ。

■ ICT機器やIoT機器など、様々なITデバイスに対応可能です。
プランは月額980円（税別）～の「機器プラン」と、
月額3,980円（税別）～の「拠点プラン」の2種類がございます。

©AKIBA HOLDINGS

プレスリリース 2026.1.8

# 【累計6,000台の実績】バディネット、サービスロボットの導入・保守サービス「ROBONARA（ロボナラ）」提供開始

株式会社バディネットは、サービスロボットのメーカー及び事業者様向けに、ロボットの導入・保守・運用に関わる業務を支援するサービス「ROBONARA（ロボナラ）」の提供を2026年1月8日より開始いたしました。

ROBONARAは、お客様のフェーズやご要望に合わせて、必要なアプリケーションだけを組み合わせた最適なプランをオーダーメイド型で提供するサービスです。

国内のサービスロボット保守代行数量シェア2位（2024年実績）、累計6,000台の実績を可能とした、全国293拠点、計1,040名の施工･保守部隊と、3拠点のコンタクトセンターの施工・保守体制により、機種、メーカーを問わず日本全国で高品質なサポートを実現します。

出典：富士経済「2025年版 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望サービスロボット編」
＜サービスロボット保守代行サービス、2024年実績、数量ベース＞

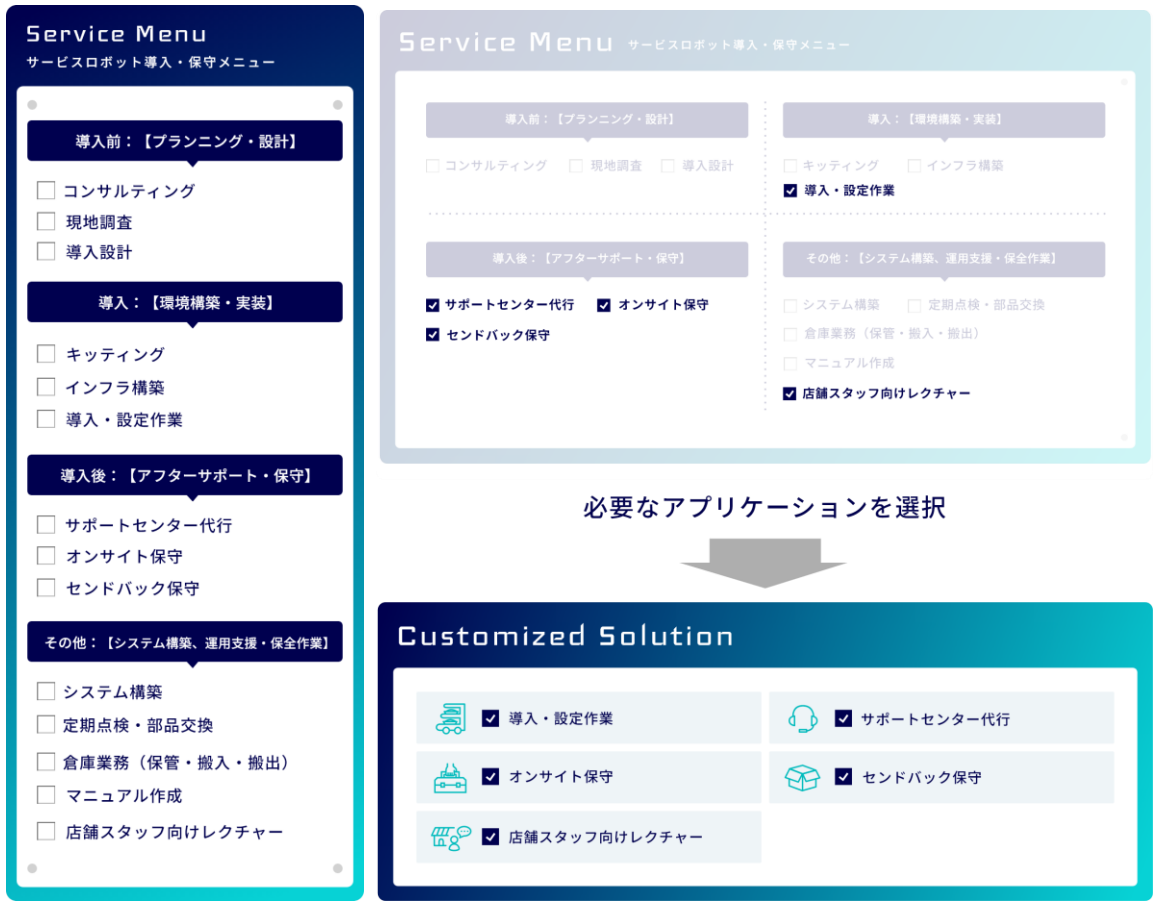
プレスリリース詳細【バディネットHP】
https://www.buddynet.jp/press-release/robonara-release-260108/

ROBONARA（ロボナラ）サービスサイト
https://www.buddynet.jp/service/robonara/


©AKIBA HOLDINGS

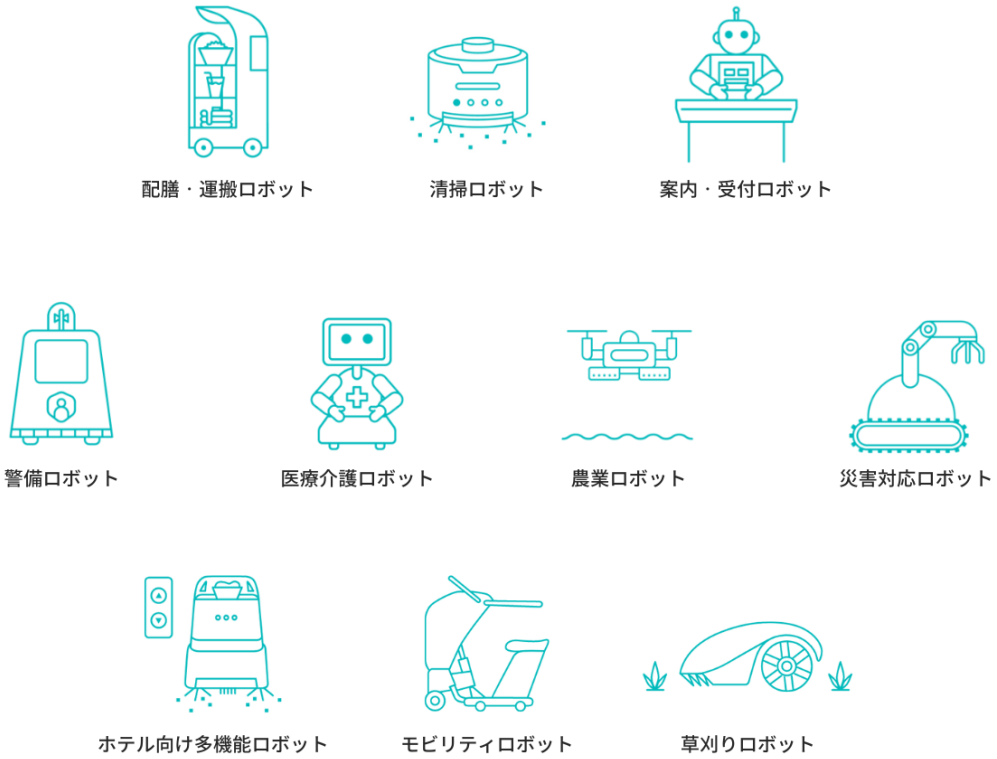
# 4-2. セグメント別概況 -通信建設テック：ニューストピックス

## お客様のニーズに合わせた「オーダーメイド型」サービス




サービスロボットの導入・保守に関するあらゆる工程から、お客様のご要望に応じて、
必要なものをお選びいただけます。メニューにないご要望もご相談ください。

## 対象ロボット例




メーカー・機種を問わず、多様なサービスロボットに対応可能です。


©AKIBA HOLDINGS

04-3

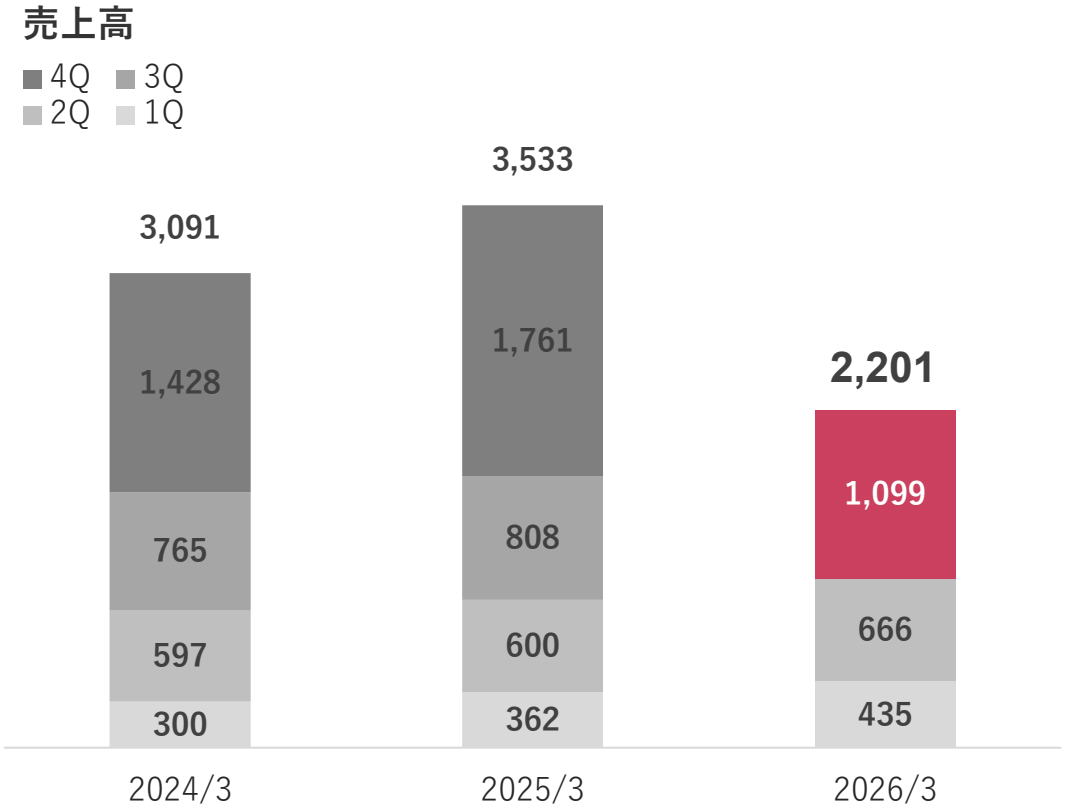
# 事業セグメント別概況 –HPC事業–
# Overview by Business Segment


©AKIBA HOLDINGS

# 4-3. セグメント別概況 -HPC事業- ：売上高

## 最新製品の販売好調、大型案件の獲得、セミナー開催効果等により、3Q累計売上高は前年同期比 124.3%

- 最新製品の市場投入に加え、積極的なセミナー開催や積極的な提案活動を展開。旺盛な需要を取り込み、大型案件の受注が急拡大いたしました。
- これらの施策が奏功し、第3四半期累計期間の売上高は前年同期を大きく上回る2,201百万円（前年同期比124.3%）となり、大幅増収での進捗となりました。



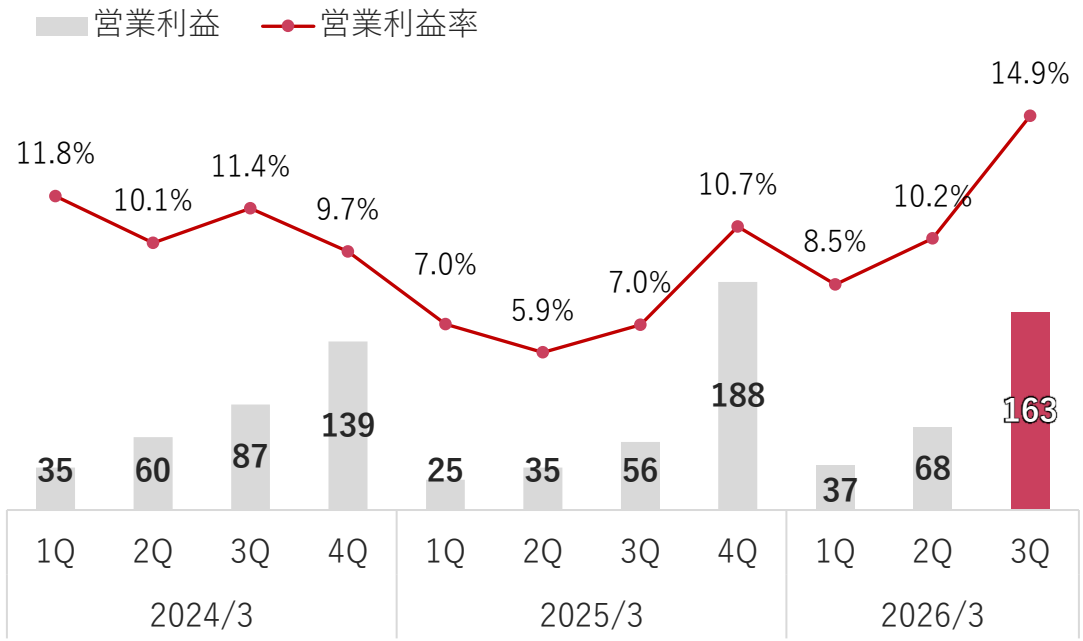


©AKIBA HOLDINGS

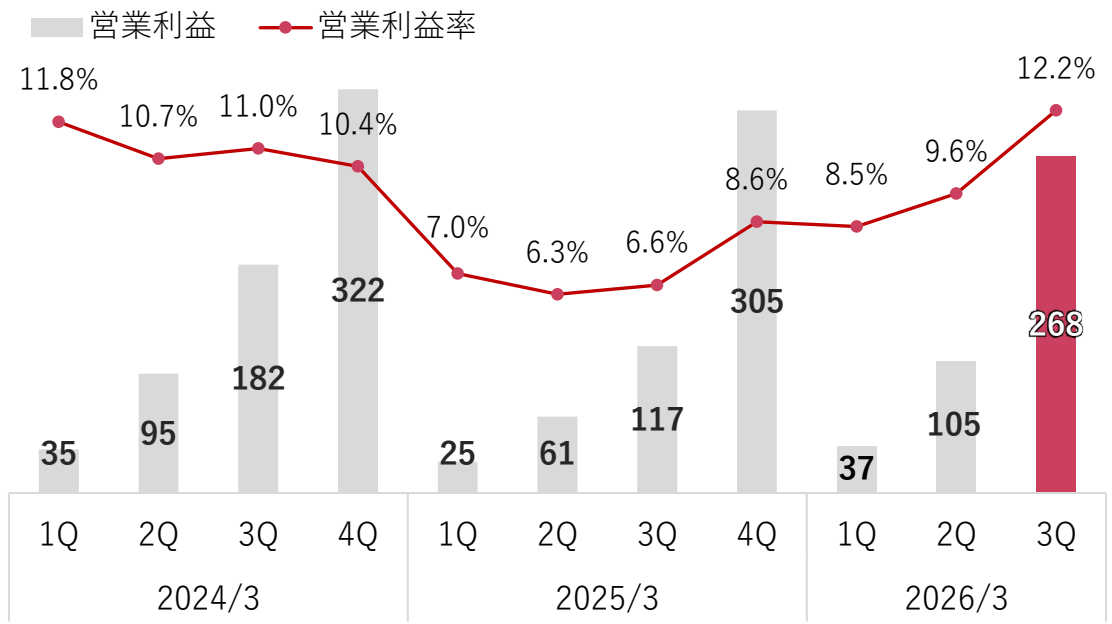
# 4-3. セグメント別概況 -HPC事業- ：営業利益　会計期間・累計期間

## 売上高拡大、大型案件の受注採算性確保により、3Q累計の営業利益は前年同期比223.1%

営業利益　会計期間




営業利益　累計期間




- セミナーや学会等を通じた継続的な販促活動による売上高の拡大及び大型案件の粗利率水準を維持出来た結果、３Q累計の営業利益は262百万円（前年同期比 223.1%）、営業利益率は11.9%（前年同期比 5.3ポイント改善）となりました。
- 半導体不足による納期遅延リスクに対し、早期発注などの対策を実施し、さらなる業績の拡大を目指します。


©AKIBA HOLDINGS

# 4-3. セグメント別概況 -HPC事業- ：ニューストピックス

**学会・展示会への参加【機器展示含む】**

| | |
|---|---|
| NGS EXPO 2025 | 2025年10月実施 |
| 第39回分子シミュレーション討論会 | 2025年10月実施 |
| 第35回 日本MRS年次大会 | 2025年11月実施 |
| 人工知能学会 合同研究会2025（SIGAIs 2025） | 2025年12月実施 |
| COMSOL Conference Tokyo 2025 | 2025年12月実施 |
| 2025 環太平洋国際化学会議 | 2025年12月実施 |
| 第39回数値流体力学シンポジウム | 2025年12月実施 |


©AKIBA HOLDINGS

04-4

# 事業セグメント別概況 –その他事業(旅館事業)–
# Overview by Business Segment

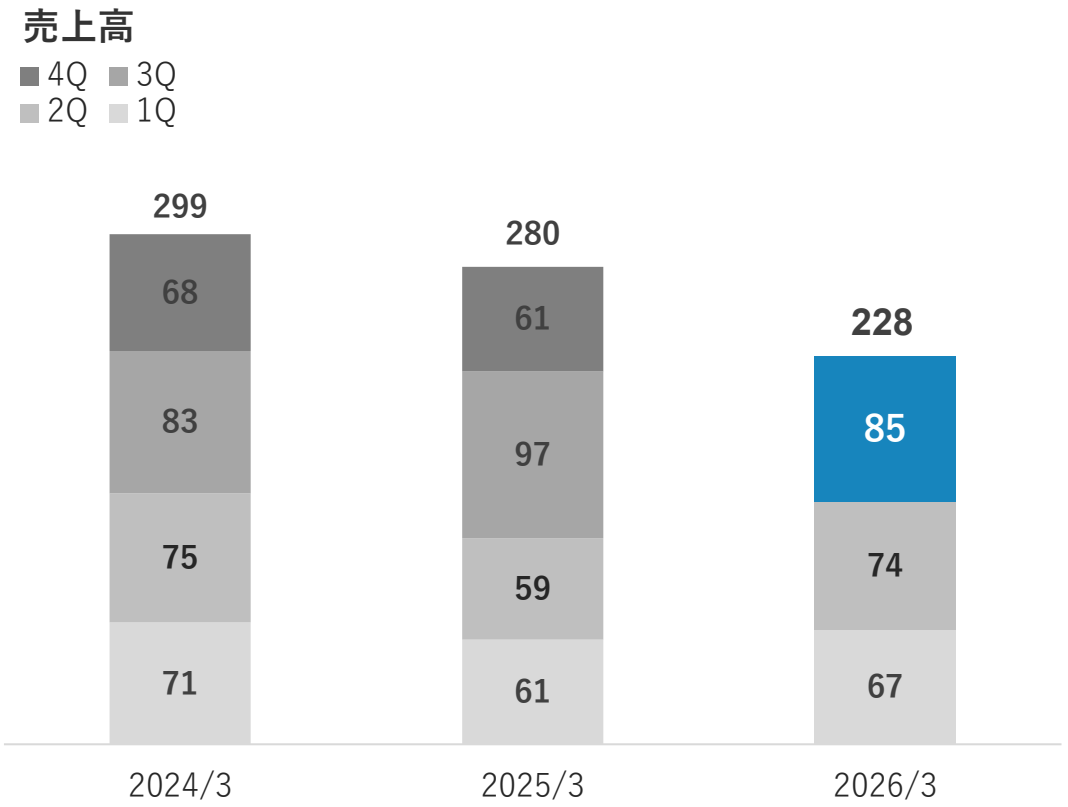

©AKIBA HOLDINGS

# 4-4. その他の事業－旅館事業－：売上高

## 需要の二極化が進む中、機動的な価格設定により累計売上高は堅調に推移

■国内需要の二極化により平日の稼働率が伸び悩んだものの、機動的な価格設定の効果により、第３四半期累計の売上高は前年同期を上回り堅調に推移いたしました。

■ OTA（オンライン旅行代理店）を活用したキャンペーン施策と露出強化を徹底することで、特に閑散期・平日の需要を喚起することで稼働率の底上げを図り、通期目標達成に向けたトップラインの維持に注力いたします。



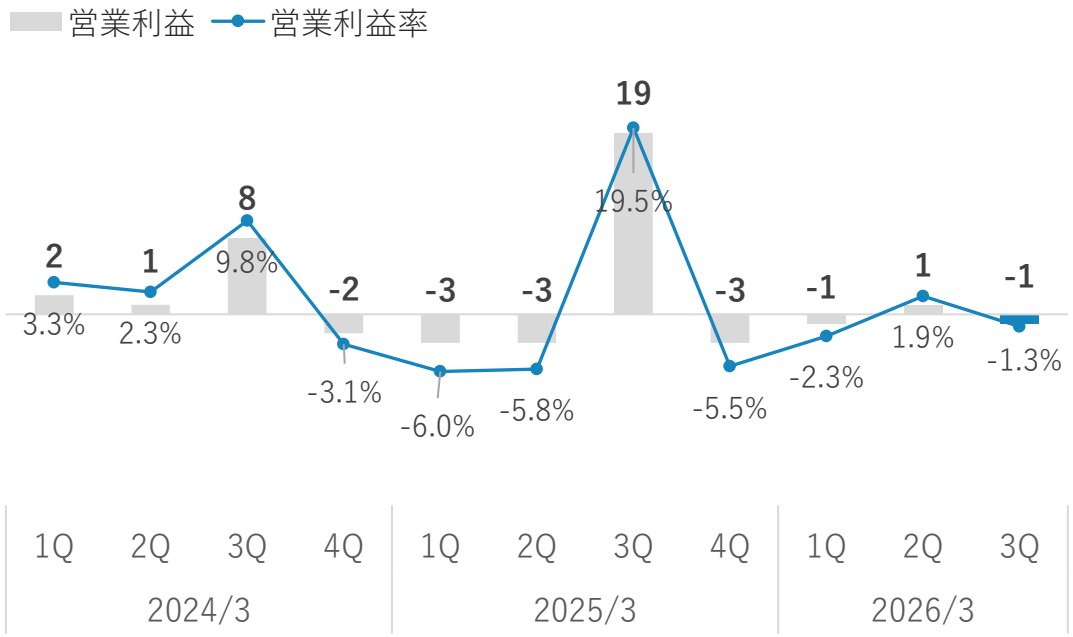

※本スライドに表記している「その他の事業」の業績については、全社調整額を含まない数値を記載しております。


©AKIBA HOLDINGS

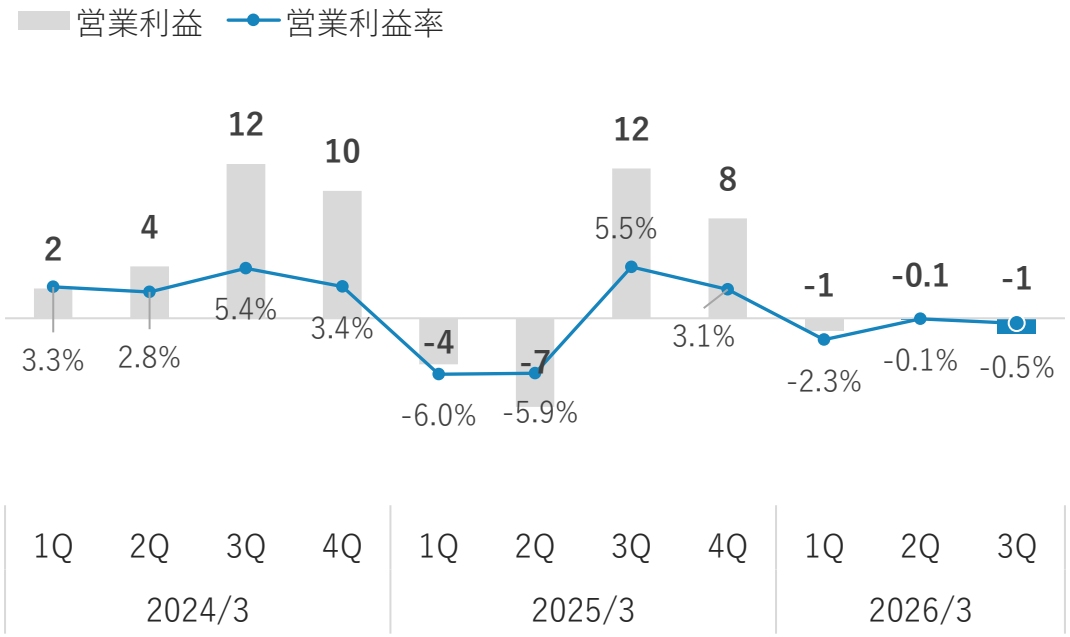
# 4-4. セグメント別概況 -その他事業(旅館事業)：営業利益　会計期間・累計期間

## 運営体制強化や設備更新に伴う負担で前年を下回るが、足元ではコスト適正化に注力

### 営業利益　会計期間




### 営業利益　累計期間




■OTA販売手数料の増加や、設備の更新・修繕を実施した影響が重なり、営業利益は前年同期を下回る推移となりました。
■オペレーションの抜本的な見直しと徹底したコストコントロールを実施し、通期計画達成に向けた収益性の向上に注力しております。
■一部客室のリフォームによる顧客満足度（CS）向上と、それに伴う客単価の改善を進め、来期以降の収益基盤の強化を推進してまいります。

※本スライドに表記している「その他の事業」の業績については、全社調整額を含まない数値を記載しております。


©AKIBA HOLDINGS

# 参考資料
# Appendix


©AKIBA HOLDINGS

# 会社概要

| | |
|---|---|
| 商号 | 株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック） |
| 上場市場 | 東京証券取引所スタンダード（証券コード：6840） |
| 設立 | 1983年2月17日 |
| 資本金 | １億円 |
| 事業内容 | 持株会社としてグループ全体の経営戦略の策定・推進、<br>グループ経営の監査、その他経営管理並びにそれらに<br>付帯する業務 |
| 決算期 | 3月末 |
| 役職員数 | 425名（連結　2025年12月末日） |
| 本社所在地 | 〒104-0045<br>東京都中央区築地2-1-17陽光築地ビル<br>Tel：03-3541-5068(代表)<br>Fax：03-6260-6258 |

| | | |
|---|---|---|
| 役員 | 代表取締役社長 | 堀 礼一郎 |
| | 取締役　CFO　管理本部長 | 五十嵐 英 |
| | 取締役　管理本部副本部長 | 冨山 理布 |
| | 取締役　経営戦略本部長 | 白鳥 俊昭 |
| | 取締役（社外） | 丸山 一郎 |
| | 取締役（社外） | 黒部 得善 |
| | 取締役（社外） | 後藤田 翔 |
| | 取締役（社外） | 中川 英之 |
| | 常勤監査役 | 内藤 城次郎 |
| | 監査役（社外） | 上林 三子雄 |
| | 監査役（社外） | 西田 史朗 |
| | 補欠監査役（社外） | 藤浪　努 |
| 会計監査人 | KDA監査法人 | |
| 株主名簿管理人 | みずほ信託銀行株式会社 | |


©AKIBA HOLDINGS

# 沿革

| | | |
|---|---|---|
| 1980年代 | 1983.2 | 株式会社アドテックを設立（商号変更により現「株式会社AKIBAホールディングス」） |
| 1990年代 | 1993.6 | パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始 |
| | 1998.11 | 日本証券業協会に株式を店頭登録 |
| 2000年代 | 2004.12 | ジャスダック証券取引所（ 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）） に株式を上場 |
| 2010年代 | 2013.5 | 株式会社エッジクルー（株式会社アキバデバイス）を設立 |
| | 2015.1 | 株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収 |
| | 2015.10 | 株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行 |
| | 2016.3 | iconic storage株式会社を買収 |
| | 2017.1 | 株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収 |
| | 2019.7 | ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合 |
| 2020年代 | 2020.5 | 株式会社ダイヤモンドペッツ＆リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始 |
| | 2020.10 | ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」 グランドオープン |
| | 2020.10 | 株式会社バディネットが株式会社トランテンエンジニアリングを買収 |
| | 2021.4 | 株式会社バディネットがiconic storage株式会社と株式会社トランテンエンジニアリングを吸収合併 |
| | 2021.10 | 株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を買収 |
| | 2022.4 | 東京証券取引所の市場区分の再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場へ移行 |
| | 2022.10 | 株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を吸収合併 |
| | 2022.11 | 株式会社バディネットが株式会社リーバンを買収 |
| | 2022.12 | 株式会社エッジクルーから株式会社アキバデバイスに商号変更 |
| | 2024.1 | 株式会社アドテックが株式会社アキバデバイスを吸収合併 |
| | 2024.4 | 株式会社バディネットが株式会社ブランチテクノ（現 連結子会社）を買収 |
| | 2025.3 | 株式会社バディネットが株式会社リーバンと吸収合併 |


©AKIBA HOLDINGS

# 企業理念

## Mission

**持続可能な未来社会をITで実現する**

For a sustainable future with IT

## Vision

### 先端技術の追求

先端技術を追求し、製品、サービスの提供及び経営におけるITの最先端企業となります。

### 弛みない革新への挑戦

探究、挑戦することを恐れず、忘れず、革新的なデザインとITの力で社会に革新をもたらします。

### 持続型企業の形成

ITを駆使して、法令を遵守し、持続的成長が可能な企業形成を推進します。

### 新しい価値の創出

日々刻々と変化する社会において、ITを活用した新しい価値を創出し続けます。


©AKIBA HOLDINGS

# 事業セグメント及びグループ会社紹介

AKIBA HOLDINGS

| | | |
|---|---|---|
| メモリ・PC関連デバイス・ IoT | ADTEC | **株式会社アドテック**<br>メモリ及びコンピュータ関連製品・IoTソリューション事業　等 |
| 通信建設テック | Buddy Net<br>Branch Techno | **株式会社バディネット**<br>**株式会社ブランチテクノ**<br>通信建設工事業、通信土木事業、コンタクトセンター事業 等<br>※ブランチテクノは2024年4月1日に連結子会社化（2024年6月30日がみなし取得日）<br>※バディネットがリーバンを2025年3月31日付で吸収合併 |
| ＨＰＣ<br>（高性能科学技術計算機） | HPC TECH | **株式会社ＨＰＣテック**<br>高性能計算機の開発・製造及び販売事業 |
| その他（旅館他） | Diamond pets & resort | **株式会社ダイヤモンドペッツ＆リゾート**<br>旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業、不動産事業　等 |


©AKIBA HOLDINGS

# 2026年3月期の業績予想と各事業の方針・施策

## 【2026年3月期連結業績予想概要】

| | 2025/3 連結業績（実績） | 2026/3 業績予想（2/13修正） | 前期比 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 18,272 | 25,500 | 139.6% |
| 営業利益 | 716 | 900 | 125.7% |
| 経常利益 | 662 | 800 | 120.8% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 112 | 530 | 472.1% |

## 【グループ全体及び各事業の方針・施策】

| | |
|---|---|
| AKIBA HOLDINGS | ❖グループの健全なガバナンス体制の維持<br>❖財政状態の健全・改善推進：ネットCFの黒字化へ向けて利益確保<br>❖成長シナリオの推進：グループの継続的な拡大に向けた基盤構築 |
| メモリ・PC関連デバイス・ IoT<br>ADTEC | 既存事業の収益改善　：取扱製品の絞り込み、在庫水準の最適化等<br>新事業領域の開発　：これまでの取り組みの絞り込みと新規領域の開発<br>経営効率の向上　：コスト見直しの実施、拠点・体制などの見直し |
| 通信建設テック<br>Buddy Net<br>Branch Techno | 既存事業の戦略的な拡大　：カメラ・ロボット関連等対応強化、組織体制整備<br>新サービス分野への挑戦　：既存事業をベースにした新サービスへの挑戦実施<br>再エネ関連工事の拡大　：リーバンとの合併による再エネ関連の全国展開 |
| HPC（高性能科学技術計算機）<br>HPC TECH | AI分野の提案内容拡大　：生成AI分野でお客様への提案内容の拡大<br>新製品用の水冷製品開発　：CPU TDP500W,GPU TDP 600Wに向けた水冷サーバ・水冷環境の開発 |
| その他（旅館他）<br>Diamond pets & resort | インバウンド顧客獲得　：海外向けの集客メディア掲載で海外顧客獲得<br>特色を活かした取り組み　：季節感を打ち出したイベント・新メニュー開発<br>不動産事業の開始　：適切な案件実施により、収益機会の獲得 |


©AKIBA HOLDINGS

# 財務情報（業績、経営指標の推移等）

| | 第38期 | 第39期 | 第40期 | 第41期 | 第42期 | 第43期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算年月 | 2020年3月 | 2021年3月 | 2022年3月 | 2023年3月 | 2024年3月 | 2025年3月 |
| 売上高(千円) | 12,574,151 | 14,742,554 | 16,166,841 | 15,007,149 | 15,848,974 | 18,272,045 |
| 経常利益(千円) | 636,377 | 682,843 | 711,268 | 1,031,089 | 844,773 | 662,301 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 654,580 | 345,839 | 382,352 | 702,077 | 292,567 | 112,268 |
| 包括利益(千円) | 702,237 | 396,663 | 426,161 | 753,768 | 367,902 | 183,053 |
| 純資産額(千円) | 1,850,742 | 2,247,178 | 2,673,308 | 3,427,077 | 3,794,979 | 3,978,033 |
| 総資産額(千円) | 6,958,007 | 8,380,543 | 9,177,714 | 10,136,167 | 11,468,317 | 13,627,886 |
| 1株当たり純資産額(円) | 184.75 | 222.36 | 264.45 | 340.36 | 372.31 | 384.53 |
| 1株当たり当期純利益金額(円) | 71.25 | 37.65 | 41.62 | 76.44 | 31.85 | 12.22 |
| 自己資本比率(%) | 24.4 | 24.4 | 26.5 | 30.8 | 29.8 | 25.9 |
| 自己資本利益率(%) | 47.8 | 18.5 | 17.1 | 25.3 | 8.9 | 3.2 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー(千円) | △246,303 | 948,655 | △147,249 | △20,468 | △40,663 | △374,342 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー(千円) | 366,840 | △183,351 | △112,089 | △393,662 | △212,897 | △108,877 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー(千円) | 881,034 | 396,249 | 253,343 | 81,518 | 971,043 | 1,696,024 |
| 現金及び現金同等物の期末残高(千円) | 2,571,439 | 3,732,992 | 3,728,478 | 3,396,300 | 4,113,909 | 5,325,760 |
| 従業員数（外、平均臨時雇用者数）（人） | 126(97) | 164(73) | 196(97) | 221(119) | 241(128) | 266(105) |

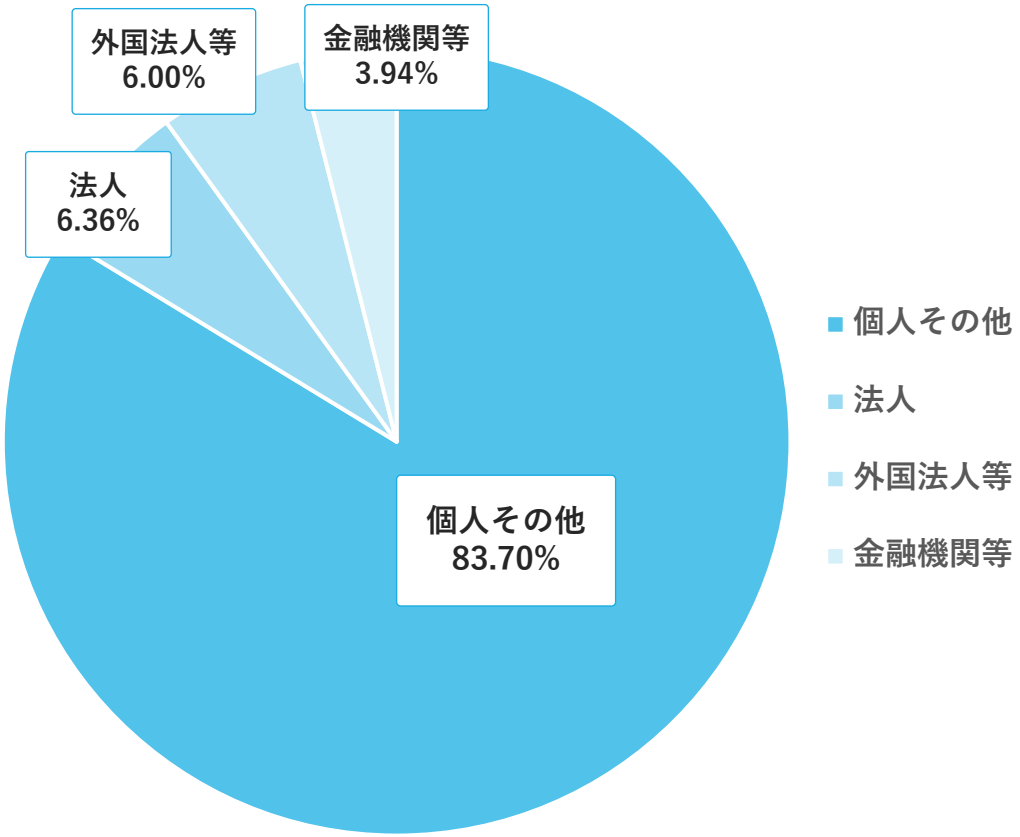

©AKIBA HOLDINGS

# 株式情報：株式基本情報、株主構成等

## 【株式基本情報】

| | |
|---|---|
| 上場証券取引所 | ：東京証券取引所スタンダード市場 |
| 証券コード | ：6840 |
| 発行可能株式総数 | ：27,328,000株 |
| 発行済株式総数 | ：9,192,560株 |
| 単元株式数 | ：100株 |
| 株主名簿管理人 | ：東京都千代田区丸の内一丁目３番３号<br>みずほ信託銀行株式会社 |

## 【株主構成：2025年3月末時点】





©AKIBA HOLDINGS

AKIBA HOLDINGS

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく過程に依拠しているため、
リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見直し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません。


©AKIBA HOLDINGS